

優良賞

GUNMA HOUSING
AWARD 2021

ケーブルカー

設計者／生物建築舎 施工者／建築舎四季株式会社



断面図



設計主旨 CONCEPT

関東平野を見下ろす山の中腹。この傾いた大地の上にいることを感じられる建築にしたいと思った。といっても、ナマの大地に人が暮らすのは難しい。裸足に地面は痛いし、斜面では安眠できない。少しだけ自然と折り合いをつけ、住める場所にしていこう。

まずは、素足で地面を踏みしめられるように、坂をなめらかなモルタルで覆う。その上に、身を安定させる水平の床を幾つか架け、生活に対応する。雨風をしのぐため、斜面に合わせた細長い

カーブで空間を囲いとる。こうして生まれた建築の中で、足の裏は、地面の揺らぎと静けさを豊かに感受する。坂を下るときは、胸を張り、街を見下ろし、重力にまかせ家族のひろばへ飛び込む。登るときは、頭を垂れ、ふくらはぎに力を込め、個の巣へと帰る。上り下りする手足と連動して脳は、全体を見渡す思考と、部分を見つめる思考を行き来する。体全体でここに住むのだ。